

※DOTS (Observed Treatment, Short-course) 「直接監視下短期化学療法」

DOTS は現在一つの治療方法ではなく次の5つの要素からなる総合的な結核対策戦略です。

1. 結核対策への政府の強力な取り組み
2. 有症状受信者に対する喀痰塗抹検査による患者発見
3. 少なくとも全ての確認された喀痰塗抹陽性結核患者に対する、適切な患者管理(直接監視下療法)のもとでの標準化された短期化学療法の導入
4. 薬剤安定供給システムの確立
5. 整備された患者記録と報告体制に基づいた対策の監督と評価

結核は不治の病ではなく薬を飲み続けることによって完治するのですが服薬期間が長くなかなか成績が上がりませんでした。

「DOTS 戦略の父」と呼ばれるカレル・スティプロ博士が明示した、短期化学療法を導入して治療期間を短くしただけでは、治療成績が向上できなかったのを、服薬の直接確認システムを導入することによって治癒率を上げることができるといふ事例から、1995年に「効果的な結核対策のための枠組み」として名づけられたものです。



(大分県東部保健所 検査課 診療放射線担当 平成27年11月18日作成)